

褥瘡発生率

定義

令和6年度1年間での、褥瘡発生率（入院してから新しく褥瘡を作った患者比率（％））です。自重による褥瘡以外、MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)も含めます。

算式

分子：新規褥瘡発生患者数

分母：年間入院患者数

当院の値（調査期間）

R6年度	0.44 % (年間)
R5年度	0.50 % (年間)
R4年度	0.46 % (年間)
R3年度	0.51 % (年間)
R2年度	0.33 % (年間)

項目の解説

入院中に発生した褥瘡（床ずれ）は、患者のQOLを低下させ、入院の長期化につながることもあります。予防可能な褥瘡については、適切な診療やケアにより、発生を回避することができます。当該指標は予防への取り組みとその効果を示す指標です。

なお、各国立大学病院における褥瘡への取り組みの一環として、患者の褥瘡のサーベイランス（発生状況を経時的にモニタリングすることにより、褥瘡の蔓延と予防に役立てるシステム）の精度に影響を受けることを考慮する必要があります。